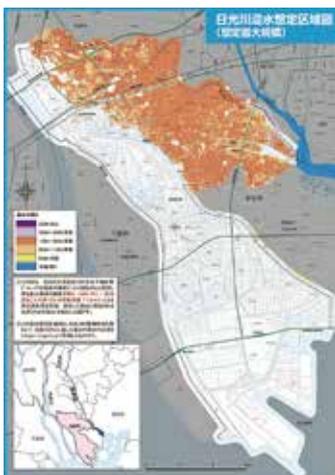




三浦 義光 議員
無会派

問 激甚化する豪雨災害への対応は

答 浸水被害から犠牲者ゼロを目指す



▲弥富市ホームページより

問 気象庁は、顕著な大雨情報で早期の安全確保を呼びかけるが、市の避難情報の変化は。

答 総務部長 迅速に協議し、適切に避難情報を発令。

問 河川氾濫時の排水機場の対応は。

答 建設部長 壊滅的な大災害を避けるため、やむなく運転を停止せざるを得ないことがある。

問 早く正確な避難指示を伝えるには。

答 総務部長 同報無線をはじめ、ホームページ、アラートなどで伝達。

問 ハザードマップを活用した、今年度の防災訓練実施状況は。

答 8月末で12地区が実施。出前講座は4地区。

問 弥生学区の緊急時避難場所収容率は。

答 113・4%。

問 新設された、前ヶ平地区の自動車整備専門学校への避難は。

答 楽荘団地の人口525人に対し、専門学校避難場所の収容人数は270人で、白鳥小学校と併用。

問 昨年度実施された「避難所運営」を踏まえ、今年度の防災ワークショップは。

答 「避難者の受入と対応」を実施。

問 市長総括を。

答 市長 排水能力の維持・増強のため、更新整備を行い内水氾濫の抑制に努める。

問 市内中学校の新制服は、選択制なのか。

答 学校教育課長 令和6年4月から、現在の制服に追加する形で導入。

問 教育委員会が考えるジェンダーとは。

答 教育長 多様性の理解を進め、差別や偏見の払拭について継続的、計画的に指導。

問 中学校プール授業の現状は。

答 学校教育課長 弥富中学校と弥富北中学校は、1年生のみが十四山中学校へ。十四山中学校は全学年が実施。

問 新しい学校生活に向けて

答 多様性が尊重される社会へ

問 今後の学校プール授業への考えは。

答 各小学校で水泳授業を行っていく。

問 ラーケーション活動の導入は。

答 10月1日より導入。本年度は1日実施。

問 市長総括を。

答 市長 多様性が尊重され、認め合える社会の実現に向けた教育を引き続き行っていく。

※ラーケーション
保護者の休みに併せた学校外での子どもの学習活動。

